

資 料

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

- 1) Л. И. Шабынин (1974) : 「Рудные месторождения в формации магниезальных скарнов (マグネシア=スカルン=フォーメーション中の鉱床)」, ネドラ出版所, モスクワ, 287p, 図62, 表15, 参529, 27×18 cm (露文), UDC 553.064+553.061 (12+2)

目 次

第1章 マグネシア=スカルンに関する一般情報

- 1 マグネシア炭酸塩岩の花崗岩化作用生成体としてのマグネシア=スカルン
- 2 炭酸塩岩部層の構造と組成の均質度に規制される マグネシア=スカルンの交代性異常配列の形態的特徴
- 3 マグネシア=スカルン体の規模と形態
- 4 後マグマ期のマグネシア=スカルン
- 5 マグネシア=スカルン岩系の石灰スカルン
- 6 マグネシア=スカルン岩系岩石の鉱物学的・岩石学的特徴

第2章 関係鉱床研究の現状とその問題点の幾つかの側面

- 1 堆積相条件, 構造地質環境, 深度条件に規制される一般的特徴
- 2 スカルン鉱床分類上の未解決の問題
- 3 スカルン化作用を受ける炭酸塩岩の組成の問題
- 4 火成活動と鉱床分布規則性の関係

第3章 礫素のマグネシア=スカルン鉱床

- A 総説
- B 鉱床の地質学的賦存条件と一般的特徴
- C 深成相の鉱床
 - 1 南ヤクート地方レグリエル鉱床田
 - 2 中部スウェーデンの鉱床
 - 3 アメリカの鉱床
 - 4 中国の鉱床
- D 半深成相の鉱床
 - 1 深度相条件による一般的特徴
 - 2 テミル=タウ鉱床
 - 3 米国モンタナ州リデンプション鉱床
 - 4 ソ連北東地方の鉱床

第4章 金, 銀, 銅, 鉛, 亜鉛, ビスマス, 礫素のマグネシア=スカルン鉱床

- A 鉱床の地質学的賦存条件と一般的特徴
- B 深成相の鉱床
 - 1 中部スウェーデンの鉱床
 - 2 米国コロラド州コトバクシ銅, 亜鉛鉱床
 - 3 米国ニューヨーク州ボルマツト亜鉛鉱床
 - 4 カナダ, ケルメツト亜鉛鉱床
- C 半深成相の鉱床

a 金鉱床

- 1 タルダン鉱床
- 2 ナタリエフ鉱床
- 3 米国モンタナ州ケイブル鉱床
- 4 米国ユタ州コットンウッド鉱床田
- 5 米国ユタ州ゴールド=ヒル鉱床田
- 6 ポーランド, レイヘイシテイン金-砒素鉱床
- 7 東サヤンとクズネツキー=アラタウの鉱床

b 銅鉱床

- 1 朝鮮北部, 遼安鉱床田と笏洞鉱床田の鉱床
- 2 ピトキャランタ鉱床田の鉱床
- 3 ブルガリア, マルコ チルノヴォ鉱床田の鉱床
- 4 米国ユタ州サンフランシスコ区とビーバー レイク マウンティン区の鉱床
- 5 米国アイダホ州ブリュス イステイト鉱床
- 6 米国ネバダ州ブラインド マウンティン鉱床
- 7 ルーマニア, オラビツァ=モルドバ ノバ地区の鉱床
- 8 米国コロイド州カッパー キング鉱山の鉱床

c 多金属鉱床

- 1 カンサイ鉱床田とジャンガルイク鉱床田の鉱床
- 2 アルマルイク鉱床田の鉱床
- 3 チリャグリサイ鉱床
- 4 カラサイ鉱床
- 5 チョカダムブラク蒼鉛鉱床
- 6 クズネツキー アラタウ山脈東斜面の鉱床

第 5 章 モリブデンとタングステンの鉱床

A モリブデン鉱床

- 1 カナダ, ケベック州の鉱床

B タングステンの鉱床

C 先カンブリア系結晶岩コンプレックス中の灰重石鉱床

- 1 カレリア自治共和国の鉱床

D 半深成相の灰重石鉱床

- 1 東ザバイカル, ブイストリンスキー鉱床
- 2 西ウズベク, トイム鉱床
- 3 マイフーラ錫石-灰重石鉱床
- 4 米国ユタ州オールド ヒッコリー鉱床
- 5 中国南部の諸鉱床
- 6 北ノールウェー, モスエン区の鉱床

第 6 章 マグネシア=スカルン岩系中の錫鉱床と稀少金属鉱床

A 総説

B 先カンブリア系片麻岩コンプレックス中の錫鉱床

- 1 キテリャ鉱床
- 2 ホブンヴァーラ鉱床

C 半深成錫鉱床

a 弱グライゼン化の鉱床

- 1 ソ連北東地方チバガラフ鉱床

新着資料の紹介 (資料室)

- 2 キルギス, ベレコヴォエ鉱床など
 - 3 マレーシア, ビートリス鉱山の鉱床
 - b スカルン-グライゼン錫鉱床
 - 1 中国南部の鉱床
 - 2 アラスカ州シユアード半島の鉱床
 - 3 カザフ共和国の鉱床
 - 4 中央アジアの鉱床
 - 5 米国ニューメキシコ州アイアン マウンティン鉱床
 - 6 米国ニューメキシコ州ビクトリア マウンティン鉱床
 - c 周期的縞状構造の成因について
 - d 苦灰岩質媒体の役割と石灰岩からの「縞状岩」と生成の可能性
- 第7章 マグネシア=スカルン岩系石灰スカルン中の鉱床
- 1 米国アリゾナ州クリスマス銅鉱床
 - 2 米国アイダホ州オールド クリーク鉱床田の多金属鉱床とマッケイ銅鉱床
 - 3 米国ネバダ州レイルロード鉱床田の多金属鉱床
 - 4 米国コロラド州の灰重石鉱床
 - 5 米国カリフォルニア州ラウンド バレイ灰重石鉱床
 - 6 オーストラリア, キング アイランド灰重石鉱床
 - 7 中国箇旧地区の鉱床

まとめ

- 2) **В. В. Беляев (1974)** : 「*Минералогия и генезис бокситов Южного Тимана (南チマン地方ボーキサイトの鉱物学的研究と成因)*」, ナウカ出版社レニングラード支所, 184p., 図73, 表33, 参170, 26×117 cm (露文), UDC 553.492.1+552.517.1

目次

- 第1章 南チマン地方ボーキサイト発見・研究史
- 第2章 調査地域の地質と発達史の特徴
- 層序と堆積相の特徴
 - 古期層 古生界
 - 構造と構造運動の特徴
 - 調査地域の堆積作用と発達史の歴史
- 第3章 ボーキサイト鉱床の産状と構造
- チムシェル=プズラー地区の鉱床
 - ケドヴァ=トプイス地区の鉱床
- 第4章 調査・研究法
- 調査研究法とその適用範囲の評価
 - ボーキサイト構成鉱物の定量分析法の開発によせて
 - 研究結果の総括原則について
- 第5章 ボーキサイト鉱床母岩の堆積相と組織・構造の特徴
- 泥質岩
 - 非限定ボーキサイト質岩
 - ボーキサイト
- 第6章 主要ボーキサイト鉱床の化学的・鉱物学的特徴と成分分布
- チムシェル=プズラー地区の鉱床
 - ケドヴァ=トプイス地区の鉱床

第 7 章 鉱物, その特徴と成因

遊離アルミナの鉱物

粘土鉱物

酸化鉄と水酸化鉄の鉱物

硫化物鉱物

硫酸塩鉱物

炭酸塩鉱物

2 酸化チタンの鉱物

その他の鉱物

第 8 章 南チマン地方のボーキサイトの成因問題

アルミナの起源の問題

基盤結晶片岩の風化殻 塩基性岩の風化殻 デボン系粘土-炭酸塩岩とその崖錐生成物の風化殻 デボン系上のラテライト型古風化殻賦存示徴

アルミナの運搬形態

南チマン地方ボーキサイトの一般成因様式と後堆積変質の性格

まとめ

3) 極東科学センター (1974) : 「Камчатка, Курильские и Командорские острова (カムチャツカ, 千島列島, コマンドルスキー諸島)」, シリーズ「シベリア・極東地形発達史」, ナウカ出版社, モスクワ, 439p., 図128, 表18, 参286, 127×18 cm (露文), UDC 551.4

目次

千島-カムチャツカ区の地形と現世構造

地形の特徴

現世の構造と地形の関係

古地形形成史

千島-カムチャツカ区の新生界

古地形発達の各段階

地形発達史上の最新期

最新期地形発達期の長さ, 段階, 研究法

カムチャツカ半島現世地形発達史

削剝-構造山群

削剝-火山成-構造山群

火山山群と火山平野

中央カムチャツカ沈降凹地の堆積面

西カムチャツカと東カムチャツカの低山山塊と基盤面

列島弧現世地形発達史

千島列島弧外帯山脈

千島列島弧内帯山脈

コマンドルスキー諸島

千島-カムチャツカ区現世地形形成の主要段階

地形の主要形成要素

ネオテクトニクス

新期火山活動

河蝕作用

第四紀氷河作用

まとめ

- 4) 「Проблемы региональной металлогении (広域メタロジェニーの諸問題)」, 全ソ地質研究所報告, 新シリーズ, 第191巻, 219p., 27×18 cm (露文), UDC553.078

目次

П. М. Татаринov: Yu. A. Bilibin とソ連のメタロジェニー	p. 5-7
В. Г. Грушевой: 地向斜-褶曲区のメタロジェニー (参19)	p. 8-22
Ю. Г. Старицкий: 卓状地メタロジェニーの基本問題 (参62)	p. 23-40
Т. В. Билибин: 楕状地とそのアクチビゼーション域のメタロジェニーの特徴 (参62, 表1)	p. 41-61
Е. Д. Карпова: 構造運動-火成活動アクチビゼーション域のメタロジェニー (図4, 表3, 参66)	p. 62-101
М. И. Ициксон: 地殻の火山源帯, 大規模地体構造単位・タイプと鉱床生成区の関係 (環太平洋帯の場合 (図7, 表1, 参30)	p. 102-120
В. С. Домарев: 鉱床地域のメタロジェニー特性の層序-堆積相要素 (参43)	p. 121-136
В. С. Домарев: 鉱床の分布に対する変成作用の役割 (参39)	p. 137-151
Г. В. Ициксон: 鉱石物質供給変成源系の構造-地球化学タイプ (図9, 表2, 参63)	p. 152-185
В. С. Кормилицин et al: 鉱石フォーメーションを基礎とした内因性鉱床の一般分類原則 (表1, 参44)	p. 186-205
Д. В. Рундквист: メタロジェニー分析による地質過程の周期性と輪廻性の研究 (参21)	p. 206-219

- 5) 鉱床地質学・岩石学・鉱物学・地球化学研究所 (1974): 「Кора выветривания (風化殻)」, 第14集, ナウカ出版社, モスクワ, 275p., 27×18 cm (露文), UDC551.311.231

目次

В. Балкай, Д. Бардоши: Латералит化作用の研究 (図4, 表2, 参15)	p. 3-14
Д. Г. Сапожников: Бор-кислотный минералогический типизация (図1, 参7)	p. 15-23
Ю. Н. Занин, Л. Н. Поспелова: Латералит型磷酸塩質風化殻の分類と地球化学上の諸問題 (図1, 参37)	p. 24-31
Ж. В. Домбровская: Тунка凹地の玄武岩風化殻と含ボー-кислотный слой (図7, 表3, 参7)	p. 32-41
В. П. Егоров, В. М. Новиков: Кемпильсай山塊はんれい岩類帯状風化殻中のラテラルит型ボー-кислотный (図6, 表1, 参11)	p. 42-50
Ю. Ю. Бугельский, Ф. Формель-Кортина: Кюбаにおける含ボー-кислотный 風下殻の存在について (図5, 表2, 参10)	p. 51-58
Р. А. Бочко, Ф. А. Киреев: 北オネга Бор-кислотный 生成域の古風化殻とそのボー-кислотный 鉱床との関係 (図11, 表3, 参5)	p. 59-75
И. В. Витовская, В. М. Новиков: Урал山脈南限地区塩基性岩風化殻中における諸成分の挙動と Al の集積条件 (図2, 表9, 参3)	p. 76-91
В. А. Романов: 風化殻の累重表成鉱化作用の成因に関する問題によせて (図1, 参14)	p. 92-96
В. А. Васильев: Латвия共和国ラブラドル岩古風化殻の鉱物学的特徴 (図14, 表3, 参7)	p. 97-111
А. П. Никитина et al: ソ連の風化殻とボー-кислотный 中の粘土鉱物の結晶化学的特徴 (図3, 表4, 参24)	p. 112-125
Р. Б. Аубакирова, К. М. Муканов: Жесказган 鉱床の酸化帯 (図6, 表2, 参19)	p. 126-138
В. В. Калинин, Е. М. Грибов: Тафта-карача Mn 鉱床 (中央アジア) 酸化帯産礫石 (図3, 表1, 参10)	p. 139-145
П. Ф. Андрущенко, П. И. Пирожок: 南ウラル初産のデラфосайт (図6, 表1, 参17)	p. 146-157

- А. Г. Черняховский: 残留作用の地理累帯様式 (表1, 参41) p. 158-165
- И. В. Витовская, Н. Н. Лавренова: 含ニッケル風化殻生成過程の定量的評価 (図2, 表7, 参14) p. 166-185
- А. П. Булгакова: クルスク異常磁域高品位鉄鉱体の後生成因について (図6, 表1, 参12) p. 186-198
- Р. А. Цыкин: マズリ石灰岩鉄床の風化殻とカルスト生成体 (図3, 表1, 参6) p. 199-207
- Б. П. Градусов et al: 長期にわたる乾燥-ステップ土壌生成作用による土壌の鉄物粒の変質 (図7, 表4, 参5) p. 208-217
- Ю. Ю. Бугельский, Ф. Формель-Кортина: 熱帯気候条件下での超塩基性岩風化作用の速度について (図3, 表3, 参10) p. 218-226
- Л. А. Матвеева: アルミナ珪酸塩鉄物の分解機構 (図5, 参38) p. 227-239
- К. П. Пак, И. Г. Цюрупа: 粘土と微細拡散鉄物に対する塩溶液の影響 (表4, 参9) p. 240-246

6) ソ連科学アカデミー鉄床生成作用委員会編 (1974): 「Метасоматизм и рудообразование (交代作用と鉄床生成作用)」, ナウカ出版社, モスクワ, 363p., 27×18 cm (露文), UDC 553.22+553.2

目次

第1部 交代作用と鉄化作用の関係

- Д. С. Коржинский: マグマ生成体・堆積生成体からの交代生成体発達の問題 (図2, 表7) p. 5-12
- Л. В. Овчинников, Л. В. Овчинников: 非スカルン交代岩とЦスカルン鉄床生成作用でのその役割 (図6, 表2, 参17) p. 12-22
- А. В. Лапин, Л. С. Бородин: アルカリ-超塩基性コンプレックスからの燐灰石-磁鉄鉄岩の生成規則性と稀少金属鉄化作用 (図3, 参12) p. 23-30
- Ю. А. Багдасаров: 鉄床胚胎指標の一つとしての, アルカリ-超塩基性コンプレックスの交代カーボナタイトの非炭酸塩質交代岩の相 (参8) p. 31-36
- К. Д. Субботин, Л. В. Ганзеева: 楯状地と卓状地の縁部の稀少金属交代岩のタイプ (参6) p. 36-42
- В. И. Коваленко et al: 交代ツピッターバンドとそれに関係ある稀少金属鉄化作用 (モンゴルとチェコスロバキアの鉄床の場合) (図4, 表3, 参26) p. 42-53
- М. Stempok: クルシュ山脈鉄床生成区含錫鉄床花崗岩中の自交代作用 (図2, 表2, 参13) p. 54-60
- Т. Г. Радонова, И. А. Велинов: ブルガリア中央山脈中部・西部の鉄床とプロピライト・二次珪岩との関係 (図3, 表1, 参34) p. 60-69
- И. П. Аверьянов, Д. П. Жижин: ソ連極東嶺新期火山活動区での交代作用と硫黄鉄化作用 (図6, 参6) p. 69-76
- З. И. Петрова, Л. К. Пожарицкая: アルダン地方深成変成岩類中の金雲母鉄床生成過程の地球化学的研究 (表4, 参2) p. 76-83
- С. А. Скороспелкин: 褶曲区構造運動・火山活動発達過程での交代作用の進化 (図1, 表1, 参9) p. 83-91

第2部 交代岩の累帯性

- В. И. Казанский et al: 含ウラン Na 交代岩の垂直累帯について (図5, 表2, 参6) p. 92-100
- Ю. Н. Размахин et al: 交代累帯性にもとづくシホテー=アリーン山脈潜頭錫鉄床の予測について (図5, 参18) p. 100-109
- Л. Н. Овчинников et al: 熱水鉄床初成分散ハロー形成の規則性とその側岩変質との関係 (図5, 参13) p. 107-121
- Н. П. Заболотная et al: グライゼン化現象の特徴に対する深さの影響について (Be 鉄床の場合) (図1, 参7) p. 121-127
- Е. А. Чернышева: 浅所条件下で生成した含鉄カーボナタイトの特徴 (参12) p. 128-131

- Г. Чофлика, Ш. Влад: ルーマニア国ララミー期高温交代岩の構造タイプ (図4, 参1) p. 131-135
- E. H. Граменицкий et al: トイルヌイ=アウス鉱床田のスカルンの累帯性 (図6, 参9) p. 136-142
- H. Нт Биндеман et al: ルードヌイ アルタイ地方ズィリャノフカ鉱床生成域中の側岩変質岩帯の分布条件と構成の特徴 (図3, 表1, 参11) p. 142-151
- Э. А. Ланда: 超塩基性アルカリ岩・カーボナタイト山塊中の累帯構造のタイプ (参14) p. 151-159
- 第3部 交代岩の成因タイプとそのフォーメーション特性
- Б. И. Омельяненко et al: 低温 Na 交代岩のフォーメーション上の独立性について (図5, 表3, 参20) p. 160-171
- В. П. Логинов, В. Л. Русинов: 地向斜火山源層中のプロピライト化作用と広域緑色岩變成作用との基本的な相違性 (参73) p. 171-183
- С. Д. Шер et al: 地質学的生成条件に結びつけた金鉱床の側岩の変質の分類 (参33) p. 183-190
- С. В. Соколов: カーボナタイトの生成様式について (参33) p. 190-196
- В. С. Самойлов: カーボナタイトの成因的タイプと相 (参17) p. 196-204
- 第4部 交代岩の物理化学的生成条件
- И. П. Иванов: 二次珪岩の累帯性生成作用を規制する物理化学的条件 (図1, 表3, 参13) p. 205-215
- П. В. Коваль: マルマサイト-曹長石化花崗岩の主な共生型式と相 (図3, 表2, 参28) p. 215-226
- В. Г. Боголепов: 系の外圧——後造山期花崗岩類貫入岩のマグマ分化後期・後マグマ分化期活動の主な要因 (図1, 参27) p. 226-232
- В. В. Щербина: 交代作用強度の要素 (参3) p. 232-237
- А. М. Масалович et al: 熱水鉱液の組成, 内部構成, 諸性質 (図6, 参19) p. 237-244
- И. К. Карпов et al: 適応プログラミング法による閉鎖系と開放系の天然鉱化過程のコンピュータ使用物理化学モデル化の原理 (図5, 表1, 参14) p. 245-256
- И. П. Щербань: 母岩と低温・中温溶液の相互作用の諸規則性 (図5, 表1, 参33) p. 256-268
- Ф. А. Летников et al: 交代作用時におけるイオンに対する鉱物の透過性について (図3, 表4, 参17) p. 268-273
- О. В. Андреева: アルタイ地方多金属鉱床低温交代岩の生成条件について (図4, 表1, 参22) p. 274-283
- И. Т. Расс: コヴドル山塊金雲母コンプレックスのマグネシア交代岩生成作用の酸性-塩基性条件について (図3, 表5, 参16) p. 283-289
- 第5部 交代作用の実験的研究
- Г. П. Зарайский et al: Ca と Mg の酸化物・炭酸塩と石英の複交代反応の実験的研究 (図10, 参17) p. 290-302
- И. П. Иванов et al: 葉蠟石の石英・白雲母 (絹雲母) 分解反応の実験的研究 (図3, 表1) p. 303-313
- Ю. Б. Шаповалов et al: 花崗岩の酸性溶脱作用による拡散交代累帯構造の実験的研究 (図5, 表3, 参16) p. 314-329
- Ф. В. Сыромятников et al: 高温・不均一圧縮条件下における水とアルカリ溶液中の石英溶解度変化の実験的研究 (図2, 表5, 参34) p. 330-341
- Ю. В. Казицын et al: 恒温・1気圧下における交代粘土化作用の力学モデル (図6, 表6) p. 341-352
- 7) Р. И. Петраченко (1974): 「Вторичные кварциты, пропициты и оруденение в мезозойских и кайнозойских эффузивах Приморья (沿海州中生代・新生代噴出岩中の2次珪岩, プロピライト, 鉱床)」、Наука出版所シベリア支所, ノボシビルスク, 170p., 図45, 表23, 参57, 22 × 15

cm (露文), UDC 553.22+552.313

目次

沿海州地方2次珪岩研究史

火山作用の特徴

東シホテ=アリン火山帯の2次珪岩, プロピライト, それらに関係ある鉱床

ブリネロフカ帯 エフスタフィヤ帯 (マイルスキー区, ドュモルチエリト区, ポベレージロヌイ区, オレオル区) サマルガ=エジンカ帯 (サマルガ区, ラザレヴォ区) オリガ帯 ミログラドヴォ帯 ヤスナヤ川・ベレゾヴァヤ川・シグナリナヤ川・ザボロチョンナヤ川流域の2次珪岩
ヴェルシンスイ鉱床田 チョルノレチェンスキー鉱床田とニジュニー鉱床田 ニコラエフスク鉱床田

西シホテ=アリン火山帯の2次珪岩とプロピライト

ビキンスキー帯 ノヴォ=ヴァルヴァロヴォ帯とポクロフスキー帯 グセフスキー帯

沿海州2次珪岩帯特有の鉱物

沿海州の2次珪岩の生成条件

2次珪岩の性質と役割 2次珪岩の組成とそれに随伴するプロピライトの組成に対する出発岩の化学組成に対する影響 2次珪岩とプロピライトの物理的性質 2次珪岩の累帯構造と生成段階性
2次珪岩とそれに随伴されるプロピライトの生成過程での主要成分と微量成分の挙動 2次珪岩の鉱物共生解析 沿海州の2次珪岩の成因的特徴

まとめ

8) А. П. Осипов (1975): 「Позднемезозойское тектоно-магматическое развитие западной части Охотско-Колымского водораздела (Охотск=コルイマ分水嶺地域西部の中生代後期の構造地質-火成活動の発展)」, 北東総合科学研究所報告, 第52号, ノボシビルスク, 160p., 図33, 表21, 参152, 22×15 cm (露文), UDC 552.3-551.240

目次

層序と構造地質の特徴

地向斜堆積層

陸成火山源生成体

オホーツク=チュコトカ火山成帯南部の構造地質の特徴

オホーツク=チュコトカ火山成帯南部の地質発達の特徴

火山作用

火山共存関係

地殻内マグマ溜りとその根源システム

貫入火成活動

貫入作用発生深度と貫入機構

火山岩-プルトン岩共生

火成岩岩系

内因性鉱床

金-銀鉱石フォーメーション

錫-多金属鉱石フォーメーション

金-稀少金属鉱石フォーメーション

内因性鉱床の生成・分布の諸特徴

まとめ